

兵庫県保険医協会明石支部 第12回日帰りバスツアー

お気軽にご参加下さい!

大塚国際美術館をゆったり鑑賞 & 『吹き戻し』製作体験



10月19日(日)

集合：8時50分 グリーンヒルホテル明石前

(明石駅から徒歩3分)

行程：9時出発→吹き戻しの里 (製作体験)

→たこせんべいの里 (コーヒー休憩・買い物)

→鳴門大橋を通り「なるみ丸」でご昼食

→大塚国際美術館 (3時間ゆったり鑑賞)

※明石帰着 18時30分ごろを予定

参加費：おひとり 13,000円

[昼食代・吹き戻し製作体験・美術館入館料込]

定員：25人 (申込順。定員になり次第締切)

(※旅行傷害保険の保険料は協会が負担しております)



魅る ミケランジェロのシステイーナ礼拝堂
天井画完全復元

協会明石支部は、5年振りに日帰りバスツアーを企画しました。鳴門市の大塚国際美術館を訪ね、古代遺跡や教会などの壁画、西洋美術の変遷、著名画家の代表作品など、世界26ヶ国、190余の美術館が所蔵する現代絵画まで至宝の西洋名画1,000余点の原寸大陶版名画をゆったり鑑賞します。ランチは鳴門で、お造り盛り合わせや自家製そば、天ぷらつきの潮騒御膳をご用意。また、通称ピロピロ笛などとも呼ばれ、呼吸器リハビリや口腔機能改善にも使われる「吹き戻し」製作体験は全国で淡路島の吹き戻しの里だけ。大人も楽しめる!とTV番組でも特集されています。

先生はじめご家族・職員のみなさまの親睦、福利厚生にぜひご参加くださいますようお願いしています。(※小さなお子様とご参加の際の参加費用は個別にお知らせいたします)

お問い合わせは、協会明石支部担当事務局(TEL078-393-1809) 本日までどうぞ。

協会明石支部主催 10/19 バスツアー **参加申込書** (返信 FAX : 078-393-1802)

地区 () 市区町 () 医療機関名 ()

電話 () FAX ()

参加者氏名 ()

※参加代表者の携帯電話をご記入ください () お名前 ()

地域の医療機関を守るため、 緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げを求める 医師・歯科医師要請署名にご協力ください

10月30日に厚労省・財務省に提出予定

政府の医療費抑制政策により診療報酬は長年低く抑えられ、現在の物価高騰や人件費上昇にまったく見合わない水準となっています。その結果、医療現場ではスタッフの確保や設備維持が困難を極め、2024年度の医療機関の倒産・休業は過去最多となりました。診療科の縮小や閉鎖も全国で広がっており、このままでは地域医療が立ち行かなくなり、「保険証があっても診てもらえない」現実が迫っています。

一方、患者さんの暮らしも深刻です。物価高により生活は圧迫され、医療費の支払いをためらう人も少なくありません。命と健康を守る医療へのアクセスが脅かされています。安全・安心な医療をすべての人に届けることは国の責任です。協会・保団連は、すべての医療機関への緊急財政措置を早急に講じ、2026年度の診療報酬改定において大幅な引き上げを強く求めています。あわせて、窓口負担の大幅な軽減を求めます。医療への公的支出の拡充は、国民生活を支え、地域経済を循環させる力にもなります。持続可能な社会の実現へ、いまこそ政策の転換が必要です。

下記項目を求めて、協会は医師・歯科医師署名に取り組んでいます。

- 一、基本診療料を中心に診療報酬の期中改定や、国の責任による補助金等での緊急財政措置を早急に行うこと
- 一、2026年診療報酬改定で、基本診療料を中心に少なくとも10%以上の大幅な引き上げを行うこと
- 一、患者窓口負担を大幅に軽減すること

※FAXのご案内に加え、オンライン署名も実施しています。QRコードからアクセスしてください。入力時間は1分以内に終わります。ぜひご協力ください。→



兵庫 県
保 険 医 協 会



二明 ユ石 ー石 ス支部

No. 336

2025・9・25

投稿歓迎!

兵庫 県 保 険 医 協 会 明 石 支 部
支 部 長 吉 岡 巖
神 戸 市 中 央 区 海 岸 通 一 丁 目 二 番 三 号
神 戸 フ コ ク 生 命 海 岸 通 ビ ル 五 階

TEL 078-393-1801
FAX 078-393-1802

兵庫県保険医協会明石支部第42回総会記念企画

参加費無料

映画「大コメ騒動」上映会



健保もない！年金もない！明日食べるお米もない！
超格差社会を変えた100年前の女性たちの実話

富山県出身で「超高速！参勤交代」を手がけた本木克英監督が、井上真央を主演に迎え、大正時代に富山県の海岸部で発生した「米騒動」で活躍した女性たちの姿を痛快に描いた。1918年(大正7年)8月、富山の海岸に暮らすおかか(女房)たちは、毎日上がるコメの価格に頭を悩ませていた。夫や育ち盛りの子どもたちにコメを食べさせたくても高く買えない現状に困ったおかかたちは、コメを安く売ってくれと米屋に嘆願に行くが失敗し、おかかたちのリーダーであるおばばが逮捕されてしまう。おかかたちの願いもむなしく、コメの価格高騰はとどまることを知らなかった。そんな中、ある事故をきっかけに、我慢の限界を迎えたおかかたちがついに行動に出る。主人公・松浦いと役を井上、姑役を夏木マリ、夫・利夫役を三浦貴大がそれぞれ演じるほか、室井滋、立川志の輔、西村まさ彦、柴田理恵、左時枝ら富山県出身俳優たちが顔をそろえる。2021年製作/106分

(C)2021「大コメ騒動」製作委員会

日時 11月8日(土) 14:10~16:10 (開場: 13:30)
会場 子午線ホール (明石駅下車徒歩3分 アスピア明石北館9階)

評議員・予備評議員(医科)改選の公示 兵庫県保険医協会 理事長 西山裕康

協会規約第31条の2および協会役員等選出規定の第3条の2により、評議員・予備評議員(医科)選挙の公示を行います。(評議員会は5月と11月の年2回開催予定)

【兵庫県保険医協会規約】第32条 1、評議員は、本会の方針に沿い、各支部または歯科部会の活動の中心となる。2、評議員は、各支部または歯科部会を代表し、所属する会員の意見を集約し評議員会に反映する。3、予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する。

【任期】2年 【立候補日時締切】10月30日(木)12時【改選日】11月6日(木)19時 於:明石支部第42回総会【立候補の届出方法】立候補を希望される医科の先生は、協会事務局までご連絡下さい。なお、歯科については歯科部会で選出します。



自身の継承経験を語る、増田章吾先生

医院継承セミナー報告 医院継承の実際 —コンサルタントの視点と 医師の体験談—

明石支部は、8月30日にアスピア明石会議室で、医院継承セミナー(医科向け)を開催し、15人が参加した。司会を担当した辻一城副支部長からの報告を紹介する。

今回、私が司会を担当した医院継承セミナーは2部構成で行われた。前半は、総合メディカル株式会社の市岡寛也氏が「成功する！医業継承の進め方・ポイント」と題して講演した。市岡氏はまず、「地域貢献を継続できる」「職員の雇用を守れる」「医院資産の売却益を得られる」などを挙げた。一方、後継者探しの困難さや手続きの煩雑さというデメリットも示されたが、それらは信頼できるコンサルタントを選ぶことで解決可能であると強調された。

高砂市医師会会長を務められていた時期にコロナ禍が始まり、多忙の折に突然体調を崩され、また同時に友人が大きな転機になったという。継承にあたっては、「その土地での同様の内科診療の継続」「医師会入会と地域医療への貢献」を条件とされた点は、先生の地域への愛着と責任感を感じた。計画から約5年の歳月を費やし、最終的に総合メディカルの支援を受け、先生の願いどおりの医師への継承が実現した。現在は、新院長の求めで旧自院を週2回手伝う傍ら、市民病院の検診や産業医の業務、介護保険の審査などをご自身のペースで続けられている。また、奥様との月1回の旅行、ゴルフ、自転車、サックスなどの趣味、旧友との交流を楽しまれており、セカンドライフを満喫されている様子を語られた。

今回のセミナーでは、コンサルタントの視点と実際の経験談が組み合わされ、医院継承の具体像が示された。参加者にとっても、自身の今後を考える上で多くの示唆を与える有意義な機会であった。

【明石市 辻一城】